

■ 国際ビジネス

SMFGでは、三井住友銀行の国際部門を中心に、内外の企業、金融機関、各国政府・公営企業等の、グローバルに事業展開するお客さまに対して地域特性に応じた高付加価値なサービスの提供に努めています。

三井住友銀行は、米州、欧州、アジア・大洋州に地域本部を、成長著しい中国、ロシア、ブラジルには現地法人を設けており、地域により異なるマーケットニーズへの迅速な対応を確立し、多様なビジネス機会を強みを発揮するグローバルな商業銀行を目指します。

海外ネットワークの拡充

三井住友銀行では、日系企業のお客さまへのサービス向上や、新興・成長市場へのアプローチを強化するため、海外ネットワークの充実を図っています。

平成22年3月には、ドバイ支店ヨハネスブルグ出張所を開設しました。インフラ開発が進む南アフリカを含むアフリカ諸国への進出・業容拡大を図る日系企業等同行のお客さまのニーズに積極的に対応すべく、平成8年に開設した現在の駐在員事務所を出張所に格上げしています。また同年5月に平成20年の出資を機に業務協働について合意した英パークレイズグループの南アフリカ子会社で、地場民間最大手銀行の一つである Absa Bank Limited と業務提携契約を締結しました。Absa Bankの保有する幅広い営業基盤を活用することで、お客さまへのサポート強化を図っています。

アジアの有力海外金融機関との提携・出資戦略

アジアでは国や地域ごとの特性を活かした提携戦略を推進しており、ローカル通貨建てサービスの拡充をはじめ、お客さまへのソリューション提供の強化を図っています。

平成21年度は7月にインドネシアの民間最大手銀行であるバンク セントラル アジアと地場通貨建て資金の安定供給、CMSプロダクト、企業取引分野での協働にかかる業務提携契約締結、同月に資本業務提携中のベトナムエグジムバンクとの間で、新たにリスク管理等の技術支援契約を締結しました。

同年12月には、第三者割当増資を通じて、既存業務提携先で、香港の民間最大手銀行である東亜銀行の株式を取得し、協力関係の一層の強化を図っています。三井住友銀行は、引き続き、アジアの地場有力金融機関との提携により、同行独自のネットワーク構築とともに、多面的なアプローチでアジアビジネスを拡大していきます。

基幹システムの機能強化

グローバル展開されるお客さまのビジネスを一層サポートするためには、海外での業容拡大と同時に、高度な情報処理・管理の推進が必須となります。三井住友銀行は海外拠点の事務システム強化を推進しており、その一環として、平成21年度より、アジア拠点の勘定系システムの更新を順次行っています。また、顧客情報や経営管理システムの更なる高度化についても併せて推進しています。

リスク管理体制の強化

信用コストのコントロール体制強化の一環として、クレジットモニタリング制度を更に強化するとともに、欧米に与信管理専門部署を設置しました。

また、昨年度設置した国際与信管理部と各地域のCPM(クレジット・ポートフォリオ・マネジメント)部署の連携を強化、景気変動の影響を最小限にとどめるためのクレジットヘッジ体制構築を推進しています。

コンプライアンス体制の強化

激変する世界的な規制環境下でのグローバルな業務拡大にはコンプライアンスの一層の強化が不可欠との認識から、バーゼル銀行監督委員会や各国当局の指針等に迅速に対応できる管理体制の整備に注力しています。

また、国際基準に沿ったマネーロンダリング防止体制構築のため、海外拠点におけるシステム化・管理の高度化を進めてきましたが、今後も運用面の一層の強化に努めます。

国際ビジネスの成長を支える人材育成

多様化・高度化するお客さまのニーズに的確かつ迅速に対応するため、教育・研修体制を強化しています。国内の若手従業員を、海外拠点や海外の外部専門機関に派遣するトレーニー制度を設け、国際経験豊かな従業員を育成しています。また、三井住友銀行の事業拡大が顕著なアジアにおいては、アジア研修室を中心に、現地採用職員向けの集合研修やeラーニング等のプログラムを充実させており、最適なソリューションを提供できるよう目指します。

Topics

◆ 海外の環境分野での取り組み

三井住友銀行はグローバルでの環境ビジネスへの取り組みを強化しています。環境ビジネスに関する実績としては、著しい経済成長に伴う大量のエネルギー消費で地球温暖化ガスの削減等のニーズが高いアジア地

域で、中国天津におけるエコシティー開発プロジェクトへのアドバイザー業務を行っている他、平成22年3月にはインドネシアにおいて、国際金融公社と米国際開発庁のアジア地域プログラム実施機関であるEco-Asiaとの間で再生可能エネルギープロジェクトのファイナンス等に関する提携を実施しました。また、同年4月20日、マレーシアの製造業業界団体であるFederation of Malaysian Manufacturers(マレーシア製造業連盟：FMM)および、同国でグリーン購入を推進する非政府組織(NGO)であるGreen Purchasing Network Association Malaysia(マレーシアグリーン購入ネットワーク：GPNM)と同国における環境関連ビジネス推進に関する覚書を締結しています。資源ビジネスが活発な米州においても、ウルグアイの大手政府系銀行であるBanco de la Republica Oriental del Uruguayと排出量取引関連ビジネスに関する業務提携覚書を締結するなど、平成18年8月のブラジル大手商業銀行のブラジル銀行との業務提携を皮切りに、ネットワーク力を継続的に強化しています。



FMMおよびGPNMとの調印式の模様

■ 市場性取引ビジネス

SMFGは三井住友銀行の市場営業部門において、資金・為替・債券・デリバティブ等の取引を通じ、高度化・多様化するお客さまの市場性取引ニーズにお応えし、より付加価値の高いサービスの提供に努めています。

市場営業部門では①お客さまからのオーダーフローの拡大、②ALM体制・トレーディングスキルの強化、③ポートフォリオ運営の徹底、の3点を軸に、適切なリスク管理のもと、内外のマーケット動向をタイムリーにとらえ、収益力の維持・強化に注力しています。

お客さまの市場性取引ニーズにあわせたソリューション提案やサービスの拡充

営業店と協働し、法人のお客さまへの相場環境の変化を踏まえた各種ヘッジスキームのご提案等、お客さまの市場性取引ニーズにあわせたソリューションを提供してい

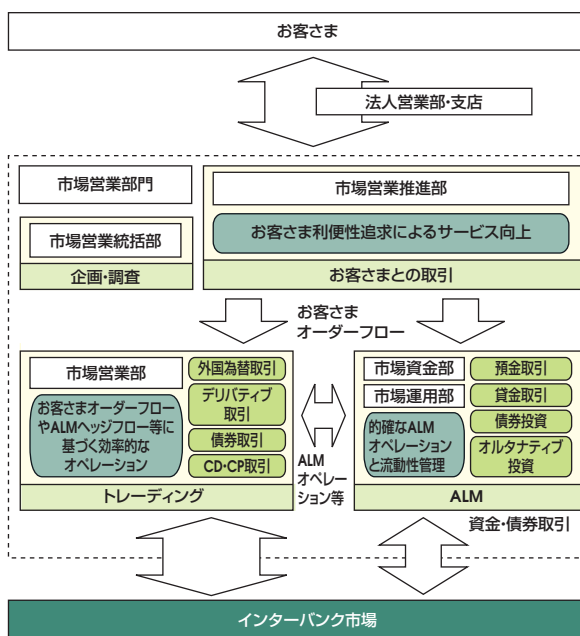
ます。

また、お客さまの市場性取引の利便性向上ニーズに応え、「i-Deal(インターネットを通じた為替予約等の締結システム)」の機能向上を継続的に行っています。今後も引き続き、お客さまの市場性取引ニーズに万全にお応えし、業界最高水準のサービスでフルサポートしていくことを目指します。

ALM・トレーディング業務

市場営業部門ではALM(アセット・ライアビリティ・マネジメント)とトレーディング業務を通じ、市場リスク、流動性リスクをコントロールしつつ、多様な市場を見ながらトレンドを追求することで収益の極大化を図っています。

今後も市場環境の変化に応じ、適切な市場オペレーションを実施し、安定的な収益確保を目指していきます。



Topics

◆個人向け豪ドル建社債の発行

新たな規制・競争環境への対応力を高めるため、中長期調達が多様化に取り組んでいます。平成22年3月には、三井住友銀行を発行体とする個人向け豪ドル建社債の発行を実施しました。

◆適切な市場オペレーションの実施

保守的なリスク管理のもと、市場環境の変化に応じ、適切なオペレーションを実施しています。また、ALMの高度化に向けた取り組みを随時行っています。